

自己改革の実践

～組合員とともに 農業・地域の未来を拓く～

JA 所お鹿児島は、総合事業で組合員・地域に必要とされる JA であり続けるために、食と農を基軸に地域に根ざした協同組合として、農業とくらしを守るため、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を基本目標とし、農業所得増大と JA の理解者・応援者の増大に向けて組合員・地域の皆様との対話を重視し、自己改革に取り組んでいます。

今回、これまでの取り組み状況をとりまとめましたのでご報告いたします。

自己改革の取り組みは、組合員・地域の皆様に評価を頂いて初めて成果となります。JA 所お鹿児島では、話し合いを通じて組合員の皆様の「願い・想い」を実現する為、役職員一丸となって改革に取り組んでまいります。

平成 29 年度末現在の自己改革の取り組みを報告させていただきます。



自己改革実践中!



代表理事組合長 本倉 敬一

総合事業とは

1. 農業を営む組合員を「正組合員」それ以外を「准組合員」といいます。正組合員は地域農業を支えるリーダーで、農業生産の維持・拡大に向けた JA 運営への参加と JA の事業を積極的に活用し、共同販売・共同購入によるスケールメリットの発揮を行っています。また准組合員は、JA とともに農業・地域を支えるパートナーとして、管内農畜産物の購入・消費による農業の豊かな食の提供の応援と JA 事業・活動への積極的な参加を行っています。
2. JA は農業関連事業（営農指導・農畜産物販売・生産資材購買）だけでなく、葬祭やガス・SS 事業、貯金等を預かりそれを原資として、貸出を行う信用事業、「ひと・いえ・くるま」の総合保障を提供する共済事業等、暮らし全般にわたる多くの事業から成り立つ「総合事業」を営んでいます。
3. JA の事業は、農業者だけでなく、一般の地域住民に対しても生活に必要なインフラ機能として非常に重要な役割を果たしています。



所お鹿児島農業協同組合

平成 29 年度末実績と平成 30 年度の成果目標



		重点品目	平成 29 年度目標	平成 29 年度末実績	平成 30 年度目標
地域営農 ビジョンの 取り組み強化	農 産	ピーマン	共販面積 (ha) 28 共販金額 (百万円) 1,480	共販面積 (ha) 30.6 共販金額 (百万円) 1,667	共販面積 (ha) 30 共販金額 (百万円) 1,560
		甘 藷	共販面積 (ha) 930 共販金額 (百万円) 1,328	共販面積 (ha) 627 共販金額 (百万円) 1,238	共販面積 (ha) 929 共販金額 (百万円) 1,551
		短ごぼう	共販面積 (ha) 73 共販金額 (百万円) 365	共販面積 (ha) 102.2 共販金額 (百万円) 499	共販面積 (ha) 80 共販金額 (百万円) 400
		茶	共販面積 (ha) 570 共販金額 (百万円) 1,460	共販面積 (ha) 608 共販金額百万 (円) 1,349	共販面積 (ha) 556 共販金額 (百万円) 1,426
		にじの会	共販金額 (百万円) 1,750	共販金額 (百万円) 1,078	共販金額 (百万円) 2,000
	畜 産	子 牛	上場頭数 (頭) 20,000 農家戸数 (戸) 2,010 繁殖雌頭数 (頭) 25,500	上場頭数 (頭) 19,551 農家戸数 (戸) 2,064 繁殖雌頭数 (頭) 26,176	上場頭数 (頭) 20,000 農家戸数 (戸) 1,900 繁殖雌頭数 (頭) 25,500
			TAF	定例訪問	年間巡回件数 (件) 5,500 農業融資メイン強化先 (件) 206
	新規就農支援	農業公社	修了生 (人) 124	研修中 (人) 7	計画 (人) 7
		農業後継者 育成対策事業	27 年度支出実績 (千円) 725	28 年度支出実績 (千円) 650	29 年度支出実績 (千円) 450

収入拡大	目標設定 平成29年・30年度の取り組み		取り組み状況・成果	
	農産	畜産	農産	畜産
収入拡大	①市場集約による有利販売（周年取引構築） ②生産コスト削減指導による所得向上 ③契約的取引拡大（青果、加工） ④直売所の充実による農家手取りの増大と6次産業化による商品開発 ⑤作業受託による適期収穫・出荷		①・取引市場との意見交換実施（トップセールス、総合営業） ・福岡市場において「JA そお鹿児島フェア」（11月）を開催し販路拡大に向けたPR活動実施 ②大口要領の活用や低コスト肥料の開発（茶・ごぼう）、栽培時期に応じた特売実施（液肥） ③県連と連携した営業活動の実施および新たな直販取引先の開拓（佐賀、岐阜） ④・直売所取扱いの増加（委託農産物・加工品取扱高 86,383 千円前年対比 156%） ・管内産いちごを使用したソフトクリーム及びキャンディの開発・商品化 ⑤農業管理センターの有効活用 労働力不足に対応するため、プロジェクト立ち上げによる検討の実施	
	①補助事業活用による増頭運動（・畜産クラスター事業・肉用牛生産基盤強化対策事業） ②分娩間隔短縮対策		①畜産クラスター（機械リース）平成 29 年度申込数 214 台、肉用牛生産基盤強化対策事業年間目標 2,380 頭 実績 2,416 頭 ②淘汰更新による繁殖成績向上対策への取り組み H28:399 日⇒H29:398 日	

収入拡大	経済	①農業機械等の補助事業（クラスター事業）を活用した農機の導入による畜産農家の所得増大（効率化・省力化）	・ H28 畜産クラスター事業 189 基 335,077 千円 ・ 補助事業（降灰） 8 基 164,398 千円 ・ 畜産近代化リース 10 基 25,928 千円 ・ 農業公社取得 2 件 17,362 千円 合計 542,765 千円	
	農産	①市場集約による流通コスト（混載等）低減対策 ②出荷規格検討（D B サイズ等）による資材コスト削減	①市場集約による有利販売の取り組みと併せ、市場との意見交換の実施（トップセールス・総合営業） ②・ 積載効率化に向けた目的としたダンボール・パレットの規格見直しについて県連との協議の実施 ・ D B 規格見直しによる価格の引下げの実施（南瓜・花）	
コスト抑制対策	畜産	①高機能飼料（くるびた）の普及による生産性向上に向けた体制強化 ・ 一般的繁殖用餌 60,100 円 / t ・ くるびた 59,000 円 / t H29：くるびたの割合 31%	①セリ前研修会時や経済連との農家巡回による高機能飼料の普及推進により商品性や斉一性において向上に取り組んでいる。	
	経済	①生産者・JA・県連等と連携した共同購入による資材価格の低減 ②価格交渉（見積入札）による仕入れコストの抑制 ③物流の再編・効率化による資材価格の引き下げ ④農機の燃料である軽油のコスト低減に向けた免税軽油の申請サポートの充実	①予約注文書に対する特別価格の設定（平成 30 年度水稻、甘藷予約注文書） ②仕入れ価格（主に農薬・ポリ）については都度、見積入札を実施しコスト低減に努めた。 ③物流再編プロジェクトによる協議中。 ④免税軽油取引先の供給、拡大取組中。（目標：700 戸） ・ 実績：688 戸 1,802 k l 5,780 万円の還元 営農用重油の価格高騰対策の実施（11 ～ 1 月使用量に対し 3 円 / L 戻し：975 万円）	
組合員の結集力強化戦略	重点施策	平成 29 年度目標	平成 29 年度末実績	平成 30 年度目標
	農家組合員や地域に向けての情報提供	広報誌の配布（人・配布率） 正組合員 7,953 1005% 准組合員 1,926 37.6%	広報誌の配布（人・配布率） 正組合員 7,953 100% 准組合員 1,488 30.6%	広報誌の配布（人・配布率） 正組合員 7,950 100% 准組合員 2,286 42.9%
	1 支店 1 地域暮らし戦略	ふれあい活動（支店数） 7 地域貢献活動（件） 170 支店だより（回） 42 ふれあい感謝祭など（回） 89 ふれあい委員会（回） 14	ふれあい活動（支店数） 7 地域貢献活動（件） 124 支店だより（回） 34 ふれあい感謝祭など（回） 82 ふれあい委員会（回） 13	ふれあい活動（支店数） 7 地域貢献活動（件） 187 支店だより（回） 42 ふれあい感謝祭など（回） 97 ふれあい委員会（回） 14
	意思反映 運営参画 JA 各種組織の会議 イベントを活用した 意見の聴取	正組合員対象 ・ 総代会（人） 331 ・ 総代研修会（人） 327 ・ 座談会（人） 500 ・ ふれあい訪問活動（件） 13,000 准組合員対象 ・ 事業内容説明会（人） 500 地域住民対象 ・ 農業まつり（人） 4,500 ・ 年金友の会（人） 11,411 ・ 直売所イベント（人） 32,500 ・ 女性部活動（人） 2,113	正組合員対象 ・ 総代会（人） 331 ・ 総代研修会（人） 327 ・ 座談会（人） 318 ・ ふれあい訪問活動（件） 10,681 准組合員対象 ・ 事業内容説明会（人） 176 地域住民対象 ・ 農業まつり（人） 4,531 ・ 年金友の会（人） 18,173 ・ 直売所イベント（人） 35,160 ・ 女性部活動（人） 2,132	正組合員対象 ・ 総代会（人） 375 ・ 総代研修会（人） 375 ・ 座談会（人） 800 ・ ふれあい訪問活動（件） 13,000 准組合員対象 ・ 事業内容説明会（人） 1,000 地域住民対象 ・ 農業まつり（人） 4,600 ・ 年金友の会（人） 11,461 ・ 直売所イベント（人） 34,000 ・ 女性部活動（人） 2,127

農家組合員の所得増大・農業生産の拡大



JA そお鹿児島では、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」に向け取り組みを強化しています。また、出向く指導体制を強化し、農業経営の支援に努めます。

重点 実施事項

「地域営農ビジョンの 取組み強化」

地域の重点品目や育成品目について、部会組織との話し合いによって営農ビジョン（生産面積・生産数量等の数値計画）を策定、実践することで、産地の維持・強化に取り組んでいます。



全共祝賀会

「組合員の収入拡大・ コスト抑制対策」

JA と県連が一体となり、生産資材の銘柄集約や奨励品目の設定、物流・予約メリットの見える化などによるコスト低減や契約取引・産直事業の拡大、県・全農などと連携した輸出

拡大による販売・営業力強化によって農家の所得向上に取り組んでいます。



やごろうすいかの出荷



カボチャ出荷式

■ 地域営農ビジョンの取組み強化

【担い手のニーズに応える個別提案活動の拡大】

TAF（農家支援センター）による訪問活動の中で、作付提案肥料・生産資材（ビニールハウス他）提案や農業融資などの個別提案活動を行いました。

提案件数（H29）	指導・購買関係	306 件	37,574 千円
	農業融資関係	28 件	123,480 千円

【訪問活動による営農相談・支援の充実】

TAF による青色申告会員・担い手・にじの会への訪問活動を実施し、情報提供や農業経営相談などを行いました。

訪問件数（H29） 6,020 件



TAF による農家巡回

【関係機関との連携による新規就農者の育成・支援】

曾於市、志布志市、鹿屋市、大崎町と連携し就農支援相談を行い新規就農者の増加を図りました。

新規就農者（H29） 21 名

【借入コストの軽減を図る農業融資の実行】

農業融資実行額（H29） 223,780 千円

■ 地域にあった農産物の生産拡大

【直売所出荷会員の拡大と育成】

消費者とのふれあい交流施設として、「新鮮さ」「安心感」「安さ」をアピールし、「地産地消」を目的とした直売所の生産者の育成と直売所への新たな出荷会員の推進を図りました。

直売所生産者部会員 171 名



そお太くん市場でのイベント

【地域営農ビジョンの推進による生産振興】

地域営農ビジョンの進捗管理を行いながら、園芸振興会や肉用牛部会と営農指導員と連携を図り生産振興を推進しました。

平成 29 年主要作付面積及び増頭数

- ・ピーマン 30.6ha
- ・甘 薯 627.0ha
- ・短ごぼう 102.2ha
- ・茶 608.0ha
- ・にじの会 1,078 百万円
- ・子 牛 19,551 頭



志布志農業公社研修生ピーマン収穫



サトイモ現地検討会



マンゴーの栽培管理を確認する生産者



リーフ茶普及
(水出し茶実演販売)

【地域農産物を使った生産の拡大の推進】

管内産のいちごを使った商品として、いちごソフトクリーム・そお太くんキャンディーいちごを開発し直売所・購入店舗を中心に販売を展開しています。また PB 商品ゆずそおダー・そお千貫・とことんぎょうざもりリニューアルを行いながら販路の拡大に取り組んでいます。



そお太くんキャンディーいちご



ゆずそおダー



焼酎そお千貫 20 度新発売

■ 農作業受託支援と生産資材コスト低減

【農家組合員のニーズに応える農作業受託支援】

農業管理センターの強化を図り、引き続き組合員の作業受委託に応えています。またオペレーターの技能向上に努め計画的作業機械の更新による体制整備を図り受託作業の利用拡大に取り組んでいます。

【予約奨励の拡大による生産資材コストの低減】

水稻生産資材、甘薯生産資材等、良質な肥料を低価格でお届けするために経済連と連携した共同購入と価格交渉（見積入札）による仕入れコストの抑制に努めました。また農業用軽油のコスト低減に向け免税軽油申請のサポートを行いました。

肥料奨励金 39,260 千円

農薬奨励金他 31,174 千円

■ 直売所（そお太くん市場・A コープ大隅店・末吉店・生協コープ志布志店・道の駅野方あらさの）を核とした地産地消の取り組み強化

【利用者ニーズの把握と出荷者との情報共有、利用者との各種交流をめざしたイベントの実施】

創業祭や、来店 30 万人突破記念セール等のイベントや、毎月の生鮮三品市による利用者開拓（直売所取り組み PR）を実施しました。



そお太くん市場創業祭



インショップ

重点 実施事項

総合事業による地域の活性化とくらしの支援

JA そお鹿児島では、地域の活性化と皆様が暮らしやすい地域づくりに向け「総合事業による地域の活性化とくらしの支援」を基本に自己改革に取り組んでいます。具体的には、次のような「農家組合員や地域に向けての情報提供」「地域社会の一員としての活動充実」「食農教育の拡充」に取り組んでいます。



女性部志布志支部朝市



渉外担当職員が子どもの交通安全見守る



青壮年部出前授業

農家組合員や地域に向けての情報発信

【多様な広報手段による農業・JA に関する情報発信】

正准組合員向けには広報誌「そおれーいゆ」を毎月発行しています。地域住民向けには「そおプラス」を発行するなど多彩な広報手段で農業・JA に関する情報の発信を行っています。

【地域特性を活かした支店だよりの発行】

各支店から、より地域に密着した情報をお届けする「支店だよりの発行を年4回発行しました。



地域社会の一員としての活動の充実

【地域とのつながりの中で、高齢者をはじめ地域住民の方々が元気で安心して暮らせるための事業】

- 買い物弱者を支援し地域を支える事業
(移動購買・金融店舗車「わんぱくそお太くん号」、移動購買店舗車「わんぱくそお太くん号 Jr」)
- 高齢者が住み慣れた地域の中で健やかに暮らしていただけるための介護事業 (デースービスゆずの郷・訪問介護・居宅介護)
- 地域警察署や交通安全協会と連携した交通安全活動
- スポーツを通じて健全な心と身体を育んでもらう活動 (小学生バレーボール大会)
- 子育て世代を対象に、育児相談や情報交換等コミュニケーション活動 (アンパンマンこどもくらぶ)



- 未来を担う子どもたちに食の大切さや農業の大切さを学んでもらうための活動 (あぐりスクール)



- 行政や県厚生連と連携した健康増進運動 (巡回検診・人間ドック)
- ポイントが貯まって使える JADDO カードの普及・サービス向上
(JADDO ポイント還元 9,688 千円)

【支店を拠点にした活動】

- 支店ふれあい感謝祭の開催による組合員・地域住民との交流



ふれあい感謝祭

- ふれあい訪問活動(定期)による情報提供並びにニーズ把握
- 女性組織の多様な学習活動の育成・支援



女性部大隅支部野菜コンクール



女性大学でイキイキと活動

- 子どもたちに食の大切さや農業の大切さを育んでもらうために管内小学校へ出前授業



財部支店ふれあい活動



女性部員がそば打ち指導



笠木小学校出前授業



菱田小学校出前授業

- 年金友の会による仲間づくり活動
(スポーツ活動、旅行、年金相談)



年金友の会ふれあいの会



年金友の会ゲートボール

- ボランティアによる
地域貢献活動
全職員1地域活動
参加運動



職員によるボランティア活動

自己改革を支えるJA組織・経営基盤の確立



JA 所お鹿兒島では、「組合員のJA運営への意思反映と積極的な参加・参画の促進」に向けた取り組みを行っています。

- 組合員・地域住民との徹底した対話の実践
「そおまるとフェスタ」に自己改革ブースを設置し、組合員・地域住民の皆様と常勤役員による対話を行いました。
- 支店運営委員会・座談会等の定期的開催
支店運営委員会・座談会等定期的に開催し、組合員の皆様のご意見や、ご質問について回答させて頂きました。



そおまるとフェスタ



自己改革広報資材作成

■ 自己改革実践体制の整備

【改正農協法を見据えた役員体制の整備】

【公認会計士監査への対応】

【競争力強化に向けてのJA間連携】

JA 佐久浅間と直売所間連携を行っています。

【総合センター設置による専門的指導員の配置等による広域営農指導体制の確立】



JA 間連携



営農指導員が生育確認

■担い手等の JA 運営への意思反映と積極的な参加・参画の促進

【担い手や正准組合員へのアンケート実施】

自己改革に対しての組合員（正・准各750名）へのアンケートを実施しました。広報誌等で結果を報告いたします。

【支店ふれあい委員会や総代学習会開催】

支店ごとにふれあい委員会や総代学習会、生産者部会等を開催し、組合員のご意見や質問について回答させて頂きました。

■役員選任方法・体制

農協法改正（平成28年4月）を踏まえた当JAの役員選任方法・体制については次の通り対応いたしました（平成30年5月改選）。

JAでは理事の過半数を原則、認定農業者や農畜産物の販売その他の当該農業協同組合が行う事業、または法人の経営に関し、実践的な能力を有する者（実践的能力者）とし、組合員のご意見や組合長の諮問機関である組織整備審議会で議論を頂き、その答申に基づき推薦会議が役員の資質・能力を備えた適格者を役員候補者として推薦し、総代会で選任されました。



＜組合員アンケートのお願い＞

JA 所お鹿児島では、現在取り組んでいる自己改革に対する組合員の皆様の評価をお伺いして、皆様の期待に応え魅力ある農業振興や住みよいくらし、地域づくりに取り組むJAとなれるよう、平成30年より組合員の皆様を対象としたアンケートを実施します。

政府は、2021年3月までに、自己改革の実施状況等を調査し結論を得るとしており、改革の進展によっては、JA事業の分割や、准組合員のJA事業利用の規制などの検討が予測されます。

組合員の皆様から頂いた評価が、今後、政府が行う准組合員のJA事業利用規制のあり方などの検討に向けて重要となります。

つきましては、前回の報告をふまえ組合員アンケートへの組合員の皆様のご協力をお願いします。

JA 所お鹿児島は今後とも、地域の農業振興に貢献できるよう、組合員の皆様の農業経営のサポートに取り組むとともに、地域のくらし・生活になくてはならない組織として、今後も役割を果たしてまいります。

つきましては、JA 所お鹿児島の農業振興への取り組みや、地域の活性化に向けた取り組みについて、皆様のご意見ご要望をお聞かせください。



そお太くん

- ・地域の担い手育成・支援について
- ・安心安全な農畜産物づくりについて
- ・農畜産物直売所の取り組みについて
- ・食農教育の取り組みについて
- ・生活文化活動についてなど

皆様のご意見をお聞かせください。
(各支店・総合センターまで)